

視察結果報告書

東松山市議会議長

齋藤 雅男 様

会派名 創和会

代表者名 鈴木 健一

月 日	視 察 地	視 察 内 容
7月25日	北海道虻田郡 ニセコ町	○デマンドバス「にこっとバス」について ニセコ町では利用者登録なしで、その日に利用予約をすると家の前まで迎えに来てくれて目的地まで連れて行ってもらえるワゴンバスを運行していた。
		○ニセコ町地下水保全条例について 近年、移住者や法人の進出に伴い有限である地下水の保全が必要になったことから条例の改正を行う予定である。
7月26日	北海道久遠郡 せたな町	○せたな町の保健事業について 熊谷出身の日本初の女医 荻野吟子が移住した町である。せたな町で保健に力を入れる吟子は、この地域で全国に先駆けて行った。
7月27日	北海道登別市	○議会改革について 議会改革ランキング1位の市であることから視察に訪れた。
		詳しくは別紙のとおり報告します。

1. 北海道虻田郡ニセコ町

- ・視察者 鈴木健一、米山真澄
- ・視察場所 ニセコ町役場
- ・視察日時 令和5年7月25日（火） 午後3時00分から午後4時00分
- ・視察項目 にこっとバスについて
水資源の保全に関する条例について
- ・説明員 ニセコ町 副町長 [REDACTED] 氏
企画環境課 経営企画係 係長 [REDACTED] 氏
" 環境モデル都市推進係 主事 [REDACTED] 氏

・要旨（報告事項）

一 デマンドバス『にこっとバス』について

平成24年運行開始。運転手込み10人乗りハイエース2台によるデマンド方式によるバス区域運行 道路運送法4条

1回200円、就学前の小児は無料。中学生以下、身体障害者手帳所持者半額。運行時間は8時から19時まで。提供方式はドアツードアサービス。区域は一部町外地域も含む。

特徴として、事前登録不要。初めての方や観光客でも電話1本で予約可能。より予約しやすい予約システムを構築。

予約、乗車方法

- ①予約センターへ電話
- ②名前、住所、希望の日時と乗車場所、目的地、人数を告げる。希望する時刻にそって、
運行可能な時刻を数件お知らせし、その中から利用者が乗車する時間を選択
- ③受付係が配車し、利用者は予約した時刻に乗車地点で待機
- ④バスが到着したら速やかに乗車
- ⑤乗り合い地経由
- ⑥目的地到着、料金支払い

運行経費

総経費（令和5年当初予算） 28,500千円

収入 運賃収入 2,500千円 国庫補助金 2,500千円 町補助 23,500千円

課題

混み合う季節、時間帯の対応。運行距離の長短で利用に差が生じる。環境対応車への切り替え。乗務員の確保など。

登録なしで簡単に予約できることが珍しい。ワゴン車で台数を増やすことによりニーズに応えることも可能になるが、その分運転手の人件費がかかる。東松山市で導入を検討する場合、デマンドタクシーは介護保健。デマンドバスはそれ以外で。さらに巡回バスとの連携をすると、それなりの経費が必要。そのために吉見町、川島町、鳩山町などの近隣自治体との共同運行を研究すべき。また廃棄油を燃料として再利用するなど考えるべき。

二 水環境保全環境条例制定について

平成 16 年環境基本条例、平成 25 年環境基本計画策定。平成 23 年ニセコ町水道水源保護条例、ニセコ町地下水保全条例施行。水道水源保護地区内への建物の設置を規制。地下水の大量取水を規制して、地下水の枯渇・地盤沈下等を防ぐ。さらに規制強化に向けて検討中。背景には、ホテルなどの観光施設などの建設により地下水の枯渇が懸念される。

2. 北海道久遠郡せたな町

- ・視 察 者 鈴木健一、米山真澄
- ・視察場所 せたな町役場
- ・視察日時 令和 5 年 7 月 26 日（水） 午後 2 時 00 分から午後 3 時 00 分
- ・視察項目 診療予防医療の取り組みについて
- ・説 明 員 せたな町 議長 ████████ 氏
議会事務局 監査委員事務局 局長 ████████ 氏
保健福祉課 課長 ████████ 氏
〃 主幹兼係長 保健師 ████████ 氏

- ・要旨（報告事項）
予防医療について

埼玉県出身の日本初女性医師 荻野吟子女史が移住した町である。それに因んで前町長が医療に力を入れ、特に保健医療福祉の連携と予防医療に力を入れ、薬に頼らない医療を実施していたとのことである。ほかに風力発電、有機農業にも積極的に取り組んでいた。

町長が変わり今は通常の医療が行われているとのことだが、保健医療に力を入れていることは今でも変わらない。日本で、肺炎球菌ワクチンに町で助成したのは、旧瀬棚町が初めてであり、日本中に広がったとのことである。

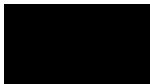
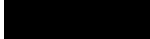
（※現在のせたな町は、平成 17 年に北檜山北部 3 町が合併した町）

肺へリカル CT 検査の希望者への実施や、中学生に対する生活習慣病予防健診や生活習慣病教室を実施しているとのこと。健康づくり推進委員と保健師の家庭訪問もこ

まめに行っているとのことであった。

また、素晴らしいパークゴルフ場もあり、町で積極的に推進しているとのことであった。

3. 北海道登別市

- ・視察者 鈴木健一、米山真澄
- ・視察場所 登別市役所
- ・視察日時 令和5年7月27日（木） 午前11時00分から午前12時00分
- ・視察項目 議会改革について
- ・説明員 登別市議会事務局 総務グループ 総括主幹  氏
" " 担当員  氏

- ・要旨（報告事項）
議会改革について

登別市は議会改革ランキングで全国一位に輝いた市であり、早期からオンラインでの委員会への参加を実施していた。通常は、コロナ過や災害などの場合に限って、行っている議会が大半であるが、登別市はそれ以外にも子育て、介護などの場合にもオンラインによる委員会の参加を認めている。

東松山市も一刻も早く災害、伝染病などの際にオンライン参加を行うべきである。